

人工内耳に関する教育相談のご案内

筑波大学附属学校教育局（東京キャンパス）の心理・発達教育相談室において、人工内耳に関する教育相談と支援を行います。

1. 対象

- ・人工内耳を装用している、1歳、2歳の聴覚に障害をもつ乳幼児とその保護者。
- ・人工内耳の装用を検討している、0歳、1歳、2歳の聴覚に障害のある乳幼児とその保護者。

2. 相談及び支援の内容

【人工内耳を装用している乳幼児と保護者に対して】

- ・子どもが人工内耳を活用して、生活の中の様々な音に興味をもつよう支援します。
- ・子どもが人工内耳を活用して、保護者や身近な大人の言葉を聞いて理解する姿勢が育つよう支援します。
- ・子どもが人工内耳を活用して、話し言葉でのやりとりを楽しむよう支援します。
- ・以上の支援を、実際に子どもと関わって遊び、保護者と話し合いながら取り組んでいきます。

【人工内耳の装用を検討している乳幼児と保護者に対して】

- ・保護者が人工内耳の装用に対して迷っている場合、その気持ちを受け止めながら相談を進めていきます。
- ・人工内耳を装用した子どもの成長の見通しについて説明します。
- ・人工内耳について、保護者が求めている情報を提供します。
- ・人工内耳の手術を受ける、受けないの決断は、保護者がじっくり話し合った上でしてもらいようにします。
- ・人工内耳の手術を検討している保護者には、その保護者の戸惑いや迷いに寄り添い、保護者が自分で決断できるように配慮します。

3. 相談及び支援の流れ

- ① 筑波大学心理・発達教育相談室に電話でお申し込みください。
- ② 受理面接を受けていただいた後に、個別相談やグループ活動などへの参加となります。
- ③ 人工内耳に関する教育相談及び支援は、月曜日に行います。

お申し込み：筑波大学心理・発達教育相談室 電話受付：03-3942-6850

日・水除く 10:30～12:00 13:00～16:30

筑波大学附属聴覚特別支援学校 吉野 賢吾
鎌田ルリ子